

# JEF 馬場馬術競技 A4課目 2013

時間 4'30" (参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1. A X	尋常速歩で入場 停止ー不動ー敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2. C CHEKA	左手前蹄跡に入る 尋常速歩	10					速歩の整正と質 真直性	
3. A D	中央線に入る 左へ直径10mの巻乗り	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
4. DG G	尋常速歩 右へ直径10mの巻乗り	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
5. C MXK	右手前蹄跡に入る 歩幅を伸ばした速歩 (Kの手前で歩度をつめる)	10					速歩の整正、 真直性、歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
6. KAF	中間常歩	10					明確でスムーズな移行 常歩の整正と質	
7. FE EH	手綱を伸ばした常歩 中間常歩	10					後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調、移行	
8. H C XF FAK	尋常速歩で発進 中央線に入る 左ヘレッギールディング 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
9. KXM MC	歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					速歩の整正、背の柔軟性、移行 バランス、歩幅とフレームの伸展	
10. C XK KAFB	中央線に入る 右ヘレッギールディング 尋常速歩	10					速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
11. B BMCH	左尋常駆歩で発進 尋常駆歩	10					明確でスムーズな移行 駆歩の整正と質	
12. HXF	斜め手前変換 X前後で尋常速歩を通して中間常歩に移行	10					バランス スムーズな移行	
13. F FAK	右尋常駆歩で発進 尋常駆歩	10					明確でスムーズな移行 駆歩の整正と質	
14. KH HC	中間駆歩(ユバシュトライヘン) 尋常駆歩	10					駆歩の整正、背の柔軟性、セルフキャリッジ バランス、移行、歩幅とフレームの伸展	
15. C	尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質	
16. B	停止 3~4歩後退、直ちに尋常速歩で発進	10					停止、後退、 明確でスムーズな移行	
17. A X	中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
		計	170					

※ ユバシュトライヘンとは、騎手が両拳を馬の背峰に沿って約2拳程前へ出して2~3歩進み、馬のセルフキャリッジを確認する動作。

※ レッギールディングの目的は、馬体の柔軟と脚馴致である。

# JEF 馬場馬術競技 A4課目 2013

出番順 競技者名 所属 馬名

## 総合観察

1. ベース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軸のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和  
軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合 計

## ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照

1回目 = 0.5% 減

2回目 = 1% 減

3回目 = 失 権

その他の違反は1回ごとに2点減

430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
<b>230</b>					
その他の違反					
得点	得点率		合計得点率%:		

審判員署名

JEF 2013年4月1日施行  
2014年4月1日改定  
2016年4月1日更新  
2017年4月1日更新